

南部中学校だより

2025. 7. 9. 第6号 文責：角

南中生ボランティアでも活躍中です！

JOCA南部から「逃走中」というイベントに中学生のボランティアを募りたいと依頼があり、全校生徒に呼びかけたところ7名の生徒の応募がありました。このイベントは町内の小学生にとっても人気で参加者を募集するとすぐに定員いっぱいになるとのことでした。

イベント当日、生徒たちは、黒の衣装にサングラスを着け「ハンター」として小学生を追いかけてまわし、逃げていた小学生はとても楽しそうでした。

学校での学習や部活動等は大事ですが、休日に友達と地域のボランティア活動に参加することもとても有意義だと思います。

今後も町内の様々なイベントのボランティア募集がありますので是非多くの生徒にボランティアに参加して知見を広げてほしいと思います。



ハンターの南中生



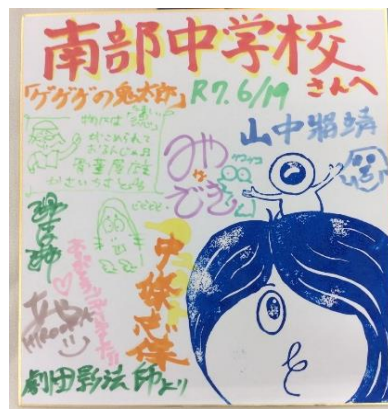
逃げる小学生

芸術鑑賞教室でゲゲゲの鬼太郎を観劇しました。

・6月19日(木)の3, 4時間目に東京の劇団「影法師」の影絵劇を全校生徒で観覧しました。体育館はスポットクーラーや気化熱冷風機、体育館用の大型扇風機を動員して室温調整に努めましたが、暗くした体育館は少しの暑さと、なんとも言えない不思議な感じがしました。

あらすじは、悪い妖怪たちに巻き込まれてしまった主人公の「ユウト」を助けるために鬼太郎と仲間たちが立ち上がり、自分も怪族の一員でありながら人間の「ユウト」を助けようとする鬼太郎と仲間たち・・・必死にユウトを助けようとする鬼太郎たちの姿をみてユウトの心にも変化が現れ「ものには魂が込められている」という事に気づきます。

影絵後には影法師スタッフによる「不思議な音のワークショップ」「バックステージツアー」などもあり、110分間があっという間に過ぎました。



【劇団影法師の方からの寄せ書き】

P T A も研修に参加しています！

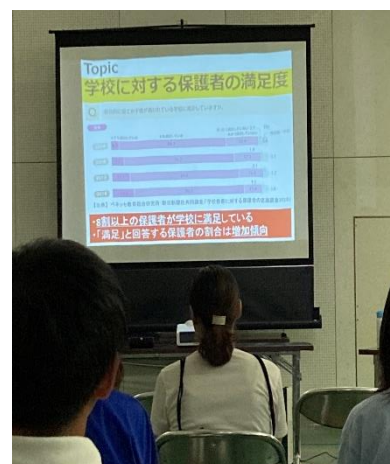
・ 6月21日に行われた西部地区人権・同和教育振興会議研修会に岡田人権教育部長が、今月6日に行われた県P T Aの研修会には他の部員が参加しました。人権・同和教育の研修会は県教委人権教育課の田村係長をファシリテーターに迎え、「居場所づくり」をテーマに、「ふつう目玉焼きには「しょうゆ」でしょ！！」をお題として参加体験型学習を行いました。（*以下参加された岡田部長の感想です。）

「多様性のあり方」というテーマの研修でした。グループに分かれ、テーマに沿って意見を交わしたり各学校の取り組みについて情報交換をしました。みなさん和気藹々とした雰囲気気で参加できて貴重な時間でした。

参加型プログラムだったので堅苦しい感じもありませんでした。学校でも取り入れたらいいなと思いました。

また、7月6日には県P T Aの役員研修会が産業体育館でありました。前半パートは聖心幼稚園、松下園長をファシリテーターに様々なワークショップを通してコミュニケーションに必要な「気づく力」の大切さを共有しました。後半は県教委社会教育課の足羽主事を講師に「家庭・学校・地域そしてP T A・・・ぶっちゃけみんなどう思ってる？」と題し全員参加型の意見交換をしました。意見交換ではP（Parent 親）、T（Teacher 教師）、P T A役員など様々な立場からP T Aのあり方、学校・先生への思い、C S（コミュニティースクール）との関わりなどについて率直な意見が多く寄せられていました。

休日の開催の研修は参加が難しいですが、P T A役員とその子ども（小・中・高校生）も一緒に参加しており、子どもと一緒にでも十分に研修受講が可能だな・・・と感じました。



【学校に対する保護者の満足度についてスマホでの回答をもとに討議している場面】

今年度も「ひまわりプロジェクト」始めています！

・ 生徒会の地域貢献部委員会が中心となり「ひまわりプロジェクト」を始めています。このプロジェクトは平成24年度に本校に勤務しておられた山本先生の「震災に遭った福島県を南部中から支援（応援）したい。」という思いから始まりました。もともと山本先生は福島県で中学校の先生をしておられました。福島県にある特定非営利活動法人チームふくしまからひまわりの種を購入し育て、収穫したひまわりの種を福島県に届ける。これらの活動で福島県の施設に「ひまわりの種の袋づめ」という作業が起こり、送り返した種で油をとりその油が福島のバスの燃料になるなど福島の雇用創出や絆づくりに役立っています。

学校に来られた際には是非、生徒玄関横のひまわりも見てやってください。

